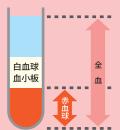


## 02

## 息切れの原因

息切れは、下記のような様々な原因で起こります。離床時には、これらの原因を特定するためにフィジカルアセスメントや検査データなどを確認します。

| 疾 患   | 原 因                         | 発 生 機 序   |
|---|-----------------------------|---|
| 呼吸器疾患<br>          | 慢性閉塞性肺疾患、肺炎、気胸、気管支喘息など      | 肺胞破壊や末梢気道病変で、肺コンプライアンスが低下し、残気量が増加する。                        |
| 循環器疾患<br>          | 心不全、狭心症など                   | 心房内圧が上昇し、肺うっ血などにより肺コンプライアンスが低下する。結果、呼吸仕事量が増加する。             |
| 神経筋疾患<br>          | 筋萎縮性側索硬化症、筋ジストロフィー症など       | 神経変性により呼吸筋の萎縮や筋力低下が生じる。その結果、血中二酸化炭素の増加、無気肺の発生、肺胸郭の可動性が低下する。 |
| 脳血管疾患<br>         | 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など            | 呼吸中枢の障害により、呼吸数や換気量が抑制され、調節ができなくなる。                          |
| 長期臥床（廃用症候群）<br>  | 長期臓床に伴う全身機能低下               | 呼吸筋の萎縮や全身筋力、持久力などが低下により、呼吸困難感が生じる。                          |
| 生活習慣病<br>        | 肥満など                        | 腹腔内圧が増加し、肺容量低下や横隔膜運動を阻害することで、呼吸困難感が生じる。                     |
| 血液疾患<br>         | 白血病、再生不良性貧血など               | 骨髄での造血機能が低下し、貧血となる。その結果、全身への酸素供給量が低下する。                     |
| 精神疾患・自律神経失調症<br> | 不安、緊張、焦燥感、恐怖感、心悸亢進、過換気症候群など | 自律神経調整機能が乱れ、交感神経が優位となり、過呼吸によりPaCO <sub>2</sub> が低下する。       |